

スズメダイ類

分類：スズキ目 スズメダイ亜目 スズメダイ科  
 学名：各項に記載  
 英名：Damsel fish

熱帯から温帯海域に分布し、特にサンゴ礁海域の浅海に数多くの種属が生息している。本科のものは体色や斑紋の違いで識別出来るものもあるが、多くは分類の困難のものも多く鰓蓋骨の後縁にある鋸歯の数や形状により分類される。体型は一般に高く側扁し、背鰭は1基で棘条部は軟条部より長い。側線はしり鰭の上方で中断される。尾鰭の後縁は普通二叉する。吻は短く口は非常に小さく両顎には円錐形の歯があるが、口蓋骨には歯がない。次の三亜科に分類される。スズメダイ亜科Chrominae頭部は外鼻孔周辺を除き完全に鱗に被われ鰓蓋骨に鋸歯をもたない。ソラスズメダイ亜科Pomacentrinaeは鰓蓋骨に鋸歯がある。オヤピッチャ亜科Glyphisoantinaeは鰓蓋骨に鋸歯がない。何れも浅海性の小型魚で体長は8cm、種により14cm位の美しい色彩をもつものが多い。



ルリホシスズメダイの一種(オ) キューバ —1969— *Microspathodon chrysurus*  
 ミスジリュウキュウスズメ(ス) *Dasyllus aruanus* オーストラリア—1966—  
 デバスズメ(ス) ベネズエラ *Chromis caeruleus* —1974—

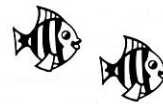


オヤピッチャ(オ) 英領バージン諸島 *Abudefduf vaigiensis* —1975—  
 スズメダイ属(ス) バーブーダ *C. cyanea* —1969—



ハナナガスズメダイの一種(ソ) キューバ —1974— *Eupomacentrus partitus*  
 オヤピッチャ(オ) イラン —1973—  
 オヤピッチャの一種(オ) ドミニカ *A. marginatus* —1976—

〈略号〉(ス)スズメダイ亜科、(ソ)ソラスズメダイ亜科、(オ)オヤピッチャ亜科。



ソール

分類：カレイ目 ササウシノシタ科  
 学名：*Solea solea*  
 英名：Sole

北アフリカからノルウェーに至るヨーロッパ沿岸及地中海の砂や小石の浅い海底に生息し、沿岸の河口に見られることもある。体形は長卵形で尾柄は細くくびれる。眼は体の右側で小さく近接している。背鰭の起点は眼の前方で尾鰭まで連なる。口は小さく弱く多少ねじれて頭部先端より腹方に位置し、下顎にのみ小さな歯が見られる。あまり移動することなく、砂を鰭で掻きまわして小動物を捕食する。卵は極めて小さく浮遊性である。体長60cmに達し、日本産のササウシノシタが15cm位であるのに比し遥かに大型魚である。ヨーロッパではフライの材料として人気が高い。



カメルーン —1968—

